



平成27年11月19日

## 「科学的」であるための条件とは？ 思考枠組みの大切さ

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（薬）の狩野光伸教授は、研究・科学・学問の根本となる思考枠組みを分かりやすくまとめた『論理的な考え方 伝え方—根拠に基づく正しい議論のために』を10月末、発刊しました。

本書では、西欧的思考枠組みの根幹を解説。何かを新たに主張する際、内容に対する「なぜ？」の答えとして、論理的に主張を整合したり、信頼・検証可能な事柄に基づいて支えたりする考え方と実際の手法をまとめました。豊富な例を通じて平易に解説しています。

### <概要>

「科学的」であるためには、どのような条件が必要でしょうか。この疑問は特に近年、いくつかの災害や事件を契機に、あちこちで聞かれるようになってきました。科学的思考枠組みを習得することは、大学をはじめ高等教育の根幹と考えています。しかし、学ぶ側も教える側も、科学的かどうかの判断基準は明快に説明できるでしょうか。

実はこれらの問いへの答えとなる西欧的思考の枠組み「議論 argument」は、科学だけでなく、報道・法律・民主主義など、西欧文化に由来する各種制度の活用においても、必要とされる思考法です。

したがって、思考法を明快に教え学ぶためには、簡便に使える日本語テキストが必要であると確信し、それに答えようとしたのが今回執筆した本書『論理的な考え方 伝え方—根拠に基づく正しい議論のために』（慶應義塾大学出版会）です。

本書では、西欧的思考枠組みの根幹を解説。何かを新たに主張する際、内容に対する「なぜ？」の答えとして、主張を論理的に整合したり、信頼・検証可能な事柄に基づいて支えたりする考え方と実際の手法をまとめました。日本文化との整合性や、日本で教育を受けた方々が難しいと思う点に配慮しながら、豊富な例を通じて平易に解説しています。著者自らが経験してきたグローバルなアカデミー活動や、それを通じて得た各国の知己からの情報を総合しつつ執筆しました。大学関係のみならず、国内外で西欧文化的思考や制度で働く、すべての方に役立つと考えています。実際、大学教員だけでなく、官界、法曹界、企業など各界の知己から、本書を通して、漠然と把握していた内容が明快になる可能性を感じるとの声が聞かれます。

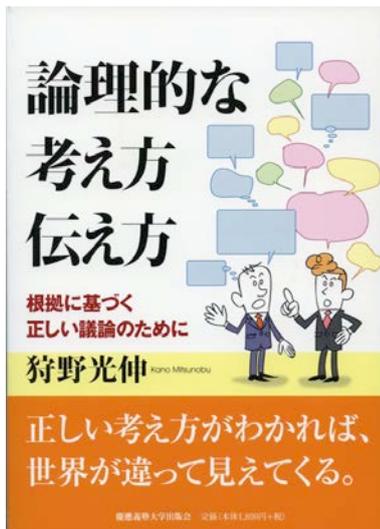


岡山大学  
OKAYAMA UNIV.

## PRESS RELEASE

西欧的文化が先導するグローバル化という時代を迎えている今、日本の立ち位置の向上のためにも、本書を参考にして、改めてこの思考法を整理し見直していただければと思います。

※表紙写真



<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 教授・  
日本学術会議 若手アカデミー 副代表・  
世界若手アカデミー 会員・2014執行委員  
狩野 光伸

(電話番号) 086-251-7970

(FAX番号) 086-251-7970